



広報
やまた

2006
11月1日号

選手も応援も「全力投入」

【第35回町民体育祭・記事10ページ】

No
878

今号の主な内容

CLZ校訪問団8人が来町
町民登場
みんなのスペース
町のわだい
町職員（保健師）を募集

2～5
6
8～9
10～11
12

CONTENTS

初めての日本滞在が
忘れられない経験に



CLZ校訪問団団長
アナ・スティーンブリックさん

訪問団団長として山田町に来ることができたことを、本当にうれしく思います。

今回の訪問の一番の目的は、今年1月にわが校を訪問された際に築いた、山田の生徒たちとの友情を深め合うことにありました。この旅を実現するために、わが校の生徒たちは大変な苦勞をしました。ザイスト中の自動車を洗い、ペットボトルを拾い集め、マラソン大会に出場して賞金を勝ち取ったほか、アルバイトをして旅行費用を貯めることができました。

滞在期間中には沼崎喜一町長をはじめ、町民の皆さん、中学校の皆さんから温かい歓迎を受け、とても感謝しています。また、ホストファミリーの皆さんからいただいた親切なおもてなしにも感謝いたします。皆さんののおかげで、初めての日本滞在が一生忘れられないものとなりました。

オランダに帰りましたら、オランダ皇太子ご夫妻をはじめ、家族や友人たちに旅の報告をし、山田の皆さんに友情と敬意を持って過ごしていきたいと思います。

今回の訪問で、ザイストの生徒とホームステイ先の友にとって忘れることのできない体験ができ、その体験と友情が生涯の思い出となることでしょう。皆さんありがとうございました。

訪問団の皆さんによる表敬訪問の様子



ホストファミリー対面式では、山田の友人と9カ月ぶりの再会を喜び合いました



ホームステイ先では、はしの使い方を教わりながら日本の家庭料理を味わいました

翌十七日から十九日まで、訪問団は山田中学校と豊間根中学校に分かれて本町の中学生と一緒に英語や数学、習字などの授業を受け、日本の中学校生活を体験。また、クラブ活動にも参加し、茶道の体験をしたり、バスケット部の生徒たちと汗を流したりと、同年代の生徒同士での交流を深めました。

主催の「オランダの夕べ」が開

十月十六日、訪問団を乗せたバスは役場前に到着。一行は沼崎喜一町長を表敬訪問し、沼崎町長にヤンセンザイスト市長やレウシシクCLZ校長からのメッセーじが書かれたパンフレットと記念品を手渡しました。その後ホストファミリーとの対面式が行われ、訪問団は十九日まで各家庭でホームステイしました。ホームステイ先となったのは、ジュニア海外使節団の生徒たちの家庭で、それぞれ自分たちがオランダでお世話になった生徒を受け入れました。子供たちは、九カ月ぶりに果たした友人との再会を互いに喜び合っていました。

十月十六日、訪問団を乗せたバスは役場前に到着。一行は沼崎喜一町長を表敬訪問し、沼崎町長にヤンセンザイスト市長やレウシシクCLZ校長からのメッセーじが書かれたパンフレットと記念品を手渡しました。その後ホストファミリーとの対面式が行われ、訪問団は十九日まで各家庭でホームステイしました。ホームステイ先となったのは、ジュニア海外使節団の生徒たちの家庭で、それぞれ自分たちがオランダでお世話になった生徒を受け入れました。子供たちは、九カ月ぶりに果たした友人との再会を互いに喜び合っていました。

ン大会の賞金などで旅行費用を貯金したり、合間を縫って日本語や日本の文化について勉強したりと、さまざまな努力を積み重ねてきました。

今回来町した生徒は、今年一月に同市を訪問した町ジュニア海外使節団を受け入れたホストファミリーの子供たちで、日本の中学三年生にあたります。生徒たちは日本の友人と再会を果たすため、アルバイトやマラソ

十月十六日から二十一日まで、友好都市オランダ王国ザイスト市のクリステリック・リセウム・ザイスト（CLZ）校から訪問団が来町しました。今回訪れたのは、今年一月に同市を訪問した町ジュニア海外使節団を受け入れたホストファミリーの生徒など八人。滞在期間中、訪問団の皆さんは中学校での授業体験やホームステイなどで町民と交流を深めました。

訪問団はCLZ校の教諭アナ・スティーンブリックさんを団長に、同校の生徒五人と父親のウエルナー・ブルーイニアーさん、財団法人ホフライイスからコニー・ヨングブルドゥウさんの八人。コニーさんは今回で十回目の来町となりました。



CLZ校訪問団の皆さん。上段左からグレン・ブルーイニアー、ボブ・ファン・ファールズ、ティシ・アルダス、ユブ・ペルフォス、マックス・リント、下段左から団長のアナ・スティーンブリック、ウエルナー・ブルーイニアー（グレンの父）、コニー・ヨングブルドゥウ（敬称略）

培われたきずな
いつまでも大切に…



昨年7月に行われた子ども会交流会の様子

平賀町と友好親善都市を終結 16年間の交流に幕を閉じる

青森県平賀町（現・平川市）と本町は今年十月三十一日をもって、両町の間で結んでいた友好親善都市を発展的に終結しました。

今年一月一日に平賀町が近隣の尾上町、碓ヶ関村と合併して平川市となったことから、同市と本町は合併後の友好親善都市の在り方について協議を重ねてきました。その結果、これまで培われた人とのつながりや交流が末永く続くことを願いつつ、発展的に終結することを確

認。両市町間で終結の確認書を取り交わし、十六年間の交流に幕を閉じました。

平賀町と本町は平成二年八月二日に子ども会交流が発端となり結ばれ、地勢や産業形態の異なる特性を生かし、教育、文化をはじめとする各分野で心の交流と経済的交流を深めてきました。自治体としての交流は終結しましたが、これまで築いてきた友好のきずなを大切にし、今後も民間レベルでの交流が続いていくことに期待します。



プレゼントされた線香花火や手持ち花火で日本の風物詩を堪能



歓迎交流会では、訪問団からホストファミリーの皆さんに感謝の花が贈られました



帰国の朝には大勢の人が見送りに詰め掛け、いつまでも別れを惜しんでいました



ホストファミリー
遠藤 龍也さん
(山田・40歳)

素直な子ばかりで とても楽しかった

初めてホストファミリーというものを務めることになり、言葉が通じないのにどうやって接したらよいのだろうと、不安でいっぱいでした。しかし、いざホームステイが始まってみると、みんな素直でいい子たちばかりだったので、とても楽しく毎日を過ごすことができました。家にはティシ君がホームステイしていましたが、夜しか会えなかったのが、あっという間に時間が過ぎていったように思えます。始まる前はあれだけ不安だったホームステイが、もっと時間があればいろんなことを教えてあげられたのにとさえ感じました。ホストファミリーを引き受けて、とても良い経験になったと思います。

温かい歓迎に感謝
また山田にきたい



CLZ訪問団
ティシ・アルダスくん

今年1月に山田町の生徒たちがザイストに滞在してから、長い長い月日が経っていたので、こんなにも温かく歓迎されるとは思っていませんでした。山田中学校に行ったときも、中学校のみんなは僕たちを温かく迎え入れてくれました。生徒の皆さんは、名前を呼んで手を振ってくれたり、サインや写真をお願いされたりしたのでちょっとびっくりしたけど、うれしかったです。

学校の雰囲気は信じられないほど楽しくて、自分たちの学校よりも山田の中学校の方が気に入ったくらいです。山田を離れるのは、とても辛く感じます。またすぐにでも山田町に戻って来れるように、心から願っています。山田の皆さんからもらった、たくさんの親切と素晴らしいプレゼント、本当にありがとうございました。



豊間根中学校での授業体験で習字に挑戦



オランダ島でザイスト市から贈られたプレートを見学する訪問団



「オランダのタベ」ではオランダの歌などを披露し、会場から大きな拍手が送られていました



クラブ活動にも参加し、茶道を体験しました

かれ、本町の中学生やホストファミリー、日蘭交流友の会会員など百五十人が参加しました。訪問団の皆さんは自己紹介とオランダでの学校生活の様子などをビデオで紹介した後、オランダの歌を披露。また「岩手山田旅情」をオランダ語と日本語の二カ国語で歌い、参加者から大きな拍手が送られていました。

続いて参加者を交えてゲームが行われ、ツイスターやいす取りゲームなどで盛り上がりました。

十八日にはオランダ島へ渡り、記念碑や島内の様子を見学。訪問団の皆さんは島から見える湾内の風景を見ながら、本町との交流のきっかけとなった三百六十年前の出来事に思いを巡らせている様子でした。

二十日には送別会を兼ねた歓迎交流会が開かれ、ホストファミリーや日蘭交流友の会、十七年度のジュニア海外使節団のメンバーなど七十人が出席。ジュニア海外使節団の生徒たちによるロックソーランが披露された後、参加者全員で「岩手山田旅情」を日本語で熱唱。続いて花火体験やホストファミリーに感謝の花を贈るなど、参加者は言葉や文化の壁を乗り越えた交流を心行くまで楽しみなが滞在最後の夜を満喫し、翌朝帰国の途につきました。



受賞を喜ぶ大町功さんと真柏「双扇の舞」

盆栽の素晴らしさを広めたい

日本盆栽作風展で内閣総理大臣賞を受賞した

大町 功さん（大沢・33歳）

「初めての入賞が、まさか内閣総理大臣賞だとは思いませんでした」と喜ぶ大町功さん。十月十一日に東京都で行われた第三十二回日本盆栽作風展で、内閣総理大臣賞を受賞しました。同展には全国からプロの盆栽作家が丹精込めて作り上げた作品五十一点が出展されました。大町さんは五度目の挑戦ですが、関東以北では初受賞となる快挙に関係者は喜びに沸いています。大町さんが出展したのは、真柏「双扇の舞」。二十三年前、父祐吉さんが個人宅の庭木として

植えられていたこの木に一目惚れし、三年かけた交渉の末、譲り受けたものです。十年前に功さんが育成を受け継ぎ、親子二代でこの真柏を作り上げました。

大町さんが盆栽作家を志したのは高校の終わりころ。盆栽愛好家だった祐吉さんの影響もあり、高校卒業後に埼玉県で五年間の修行を積みました。現在実家の盆栽園・桃陽園を継いで若き作家として活躍する大町さんは、県内をはじめ、東北・北海道の愛好家からも依頼が来るほど、技術力と感性に高い評価を受けています。最近では海外での盆栽ブームを受け、アメリカや韓国で講師を務めることもあるそうです。

盆栽の魅力について聞いたところ「その木を見て、どのように作っていくかを考え、その形に導いていくところですね。木は成長するので管理が難しく、真の完成はありません」と真剣な表情で語る大町さん。

「盆栽は年配の方の趣味というイメージがありますが、海外でも人気が高まっています。若い人にも盆栽の素晴らしさを広めていきたいですね」と笑顔で話してくれました。

南部馬方節全国大会

新保さんが優勝を飾る



賞状を手に喜びの新保公さん

を受けながら練習。練習日以外でも車を運転しながら何十回も繰り返し歌うなど、影の努力が実を結んだ結果となりました。

新保さんは民謡を始めて十九年。現在は自身が副会長を務める山田民謡伝承会（阿部實会長）で会員へ歌の指導を行いながら、介護施設などへの慰問活動も精力的に行っています。

十月八日に八幡平市で開かれた第六回漆原栄美子杯南部馬方節全国大会で、新保公さん（長崎・五）が見事優勝に輝きました。

大会には全国からのど自慢三十二人が参加。「優勝を目標にしていたのでほっとした部分もありますが、やはり優勝はうれしいですね」と喜びを語ります。

新保さんは昨年もこの大会に出場し、惜しくも三位に終わっています。「前回はまだ歌が自分のものになっていなかった」と反省し、歌の先生にアドバイスを

今後の抱負については「これから民謡の良さを若い世代の皆さんに伝えていきたい。日本の伝統芸能である民謡をなくさないためにも、子供たちに小さいうちから民謡にふれる機会ができれば」と後継者の育成に意欲をのぞかせていました。

また、新保さんは十月十四日に東京都の両国国技館で行われた民謡民舞全国大会の民謡壮年部旗戦でも、この「南部馬方節」で三位に入賞しています。



総務大臣表彰を受賞した尾形光平さん

尾形光平さん（豊間根・六）が労働力調査の統計功労で総務大臣表彰を受けました。尾形さんは昨年実施された労働力調査で統計調査員として従事し、その調査書類の正確な事務が高く評価されたものです。

表彰式は十月二十六日、久慈市で開催された岩手県統計大会の席上で行われました。尾形さんは「調査員の職務上個人情報をお聞きすることもあるので、地域の皆さんとの信頼関係を築くことが何よりも大切です。これまでお世話になった地域のためにも、自分ができる限りのことを頑張りたいと思います」と話していました。

労働力調査で功績認められる

尾形さんが総務大臣表彰を受賞



法務大臣表彰を受賞した中屋ハルエさん

保護司
として
23年

山田の
中屋さん

長年の活動に法務大臣表彰

保護司の中屋ハルエさん（山田・七）が、法務大臣表彰を受けました。保護司は国から委嘱され、犯罪や非行に陥ってしまった人の生活相談など、社会復帰への手助けをすることを目的に活動しています。中屋さんは昭和五十八年に委嘱されて以来二十三年にわたり、保護司として罪を犯した人などの更生支援に尽力してきました。

表彰式は十月四日、二戸市で開かれた岩手県ブロック別更生保護研究大会の席上で行われました。中屋さんは「保護司の活動は自分の生きがいにもなっており、特に苦勞を感じたことはありません。どんな人でも、誠意を持って話をすれば必ず心を開いてくれます。そうして心と心が通じ合ったときには、とてもすてきな宝物をもたらしたような気持ちになります。体が元気なうちは、ずっと続けていきたいですね」と変わらぬ意欲をみせていました。

第21回県中学校駅伝大会 山田中男子が準優勝に輝く



県中学校駅伝大会で準優勝した山田中男子の皆さん

第21回岩手県中学校駅伝大会が開催され、山田中学校男子が準優勝する活躍ぶりを見せました。

大会は10月11日に花巻市で開かれ、県内の中学校41チームが参加。山田中は序盤、優勝候補の有住中（住田町）を追う形でスタートし、2区佐々木悠君の区間賞の走りでトップに立ちますが、有住中に3区と4区で抜かれ、一時は大きく離されました。しかし、5区の斎藤翔太君が区間賞の快走をみせ、トップに1秒差まで迫る大接戦となり、続くアンカーでも接戦を繰り広げました。惜しくもラストスパートで後一歩及びみせなかったが、堂々の走りで準優勝に輝きました。この結果、山田中は11月3日に秋田県秋田市で行われる東北大会への出場権を獲得しています。

主将の佐賀達徳君は「優勝を目指して練習してきましたが、有住中はそれ以上に速かったです。東北大会では8位入賞を目指し、今度は有住中に勝ちたいです」と次の大会に向けた意気込みを話してくれました。

▷出場選手 写真左から沼崎瑞希（2年）、佐々木悠（3年）、佐々木豊志（同）、佐賀達徳（同）、斎藤翔太（2年）、佐藤連（3年）

《敬称略》

山中野球部員の行動に感動

県中学校新人軟式野球大会では、山田中学校が準決勝で惜しくも敗れたものの、試合のほかにとってもいいことがありましたので、その報告とお礼を申し上げたいと思います。

準決勝に出場するため山田中の選手は早々と球場に集まり、レギュラー陣はグラウンドで練習を始めました。控えの選手と思われる4人が「ほうきを貸してください」と言って事務室にきました。何をするのか聞きましたら、落ち葉を掃くということです。ほうきを持った生徒がスタンド周りの掃除を始めたところ、そのほかの生徒も次々に集まってきて、ほうきとごみ袋を持って掃除を始めました。スタンドの中は前日から大会が開催されており、落ち葉やお客さんが残っていたごみが残っていました。およそ30分後、集めたごみを袋いっぱい詰めて、「終わりました」と言って事務室にきました。「ありがとう、ご苦労さん」と言って帰しましたが、生徒たちは何事もなかったかのように三塁側スタンド最前列に陣取って、応援を始めました。

多くの学校がこの野球場を利用します。利用後に掃除をしていくのは当然のこととしても、試合開始前に掃除するのは、わたしがこの球場に勤務するようになって初めての出来事でしたのでとても感動しました。山田中の先生方の日常の生徒指導の一端をうかがい知ることができたと同時に、このことを多くの人に知らせる方法がないものかと考えております。

試合は準決勝で敗れましたが、今大会の総合優勝は山田中学校であったのかもしれません。これからのご活躍を期待しております。

岩手県営野球場長 佐々木 翼

イラスト



わけて競技に励み、日々心身とものびのびとはぐくんで生活していることを実感。とてもかわいらしかったので、ただただ拍手を送った。時々黄葉も園児と競うようにくるくる回りながら競技場に入ってくる。重ねて私の幼少時代、母親との畑への行き帰りの道路脇にあった「明治二十九年津波記念碑」が一休みの場。母は必ず手を合わせるの「見よう見まね」で手を合わせることを覚えた。年月が流れても今でも心の中に生きている。幼少のころの思い出をよみがえらせ、いつも楽し

ませてくださる諸先生方、保護者の皆さま、ありがとうございました。

花の苗を保育施設に寄贈

山田BBS会では、五月に開催した映画「待合室」山田上映会の益金で購入した花の苗二百四十株を山田町第一保育所、さくら幼稚園、豊間根保育園の三施設に寄贈しました。十月十六日には山田町第一保育所でプラントナーへの植え付けが行われ、園児五十六人が元気いっぱい作業に取り組みました。保育園前に飾られた色とりどりの花が園児や保護者、通行人の目を惹きつけています。山田BBS会の活動にご協力くださった方々大変ありがとうございます。山田BBS会会長 川石睦



初めて見る学園祭に感動

足早に深み行く秋の先月十五日、旧マリナーパーク山田駐車場で、町民駅伝大会と「はまなす学園祭」が好天の下で開かれ、多くの町民でにぎわいを見せた。学園祭を見るのは初めてだったが、町長の祝辞に次いでの出し物は感動の連続だった。入園生たちの越中おわらの舞いにはつい涙にむせて仕方なかった。十五人余によるお茶まんぼの踊りも見応えがあり、一人一人の澄んだ瞳の輝きがとても印象的だった。また山高吹奏楽部によるドリフのズンドコ節などメドレー曲が会場を盛り上げた。出演した皆さんから感動をいただき、そして学園生みんなの幸せを祈りつつ帰途についた。齋藤忠雄（船越・81歳）

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

ベツトから妻をかかえてトイレまで連れて行く日がいままで続く
菊地孝進（船越・84歳）
グリーンツーリズム人は来ないで熊が来る
佐藤兼男（荒川・79歳）
今日も又押して坐って老人車育てた海をながめて帰る
大川ヒメ子（大沢・？歳）

みんなのスペース



ながさわ よしき くん
(わかば幼稚園・5歳)

ぼくのゆめ

大きくなったら車の修理屋さんになって、みんなの車を直してあげるんだ。

古里への便り⑧



ふる里山田同郷の会幹事
東京都足立区

粒良勝子さん(68歳)
〔中央町出身・旧姓佐藤〕

部」のお手伝いを通して、いろいろな講演会に出席させていただき、その講演の一つは、若いお母さんたちにお聞かせしたい内容でした。それは筑波大学の先生の講演で、先生が「人間と動物の母乳の成分は同じだと思いますか？違うと思いますか？」と会場の皆さんに挙手を取り、私も含め九六%が「同じ」と答えました。ところが先生の答えには眠気も吹っ飛びました。「動物の母乳は運動発達優先の成分であり、人間の母乳は頭脳発達優先の成分である」とのこと。確かに野

されています。

運動期間中には、警察署や関係団体が道の駅やまだ駐車場交通安全キャンペーン運動などを展開しましたが、このような活動ではもはや限界の域を超えているのではないのでしょうか？好きな酒、楽しいはずの飲み会が自制を失った行為で最悪の結末を引き起こし、加害者、被害者双方の家庭を崩壊させます。飲酒運転は凶悪犯罪です。軽い一杯が重い代償になりますので「飲酒運転は絶対にしてはいけない」とを合言葉に町内のす

心に残る保育園の運動会

さわやかな秋晴れの下、織笠保育園の運動会に歩を向かせた。園庭は競技場になり、万国旗が仲良く手をつないで青空にはためいていた。が、ふと「今日もどこかで戦いが」と頭をよぎった。つかの間、好きな曲「聖者の行進」が流れ、興奮に包まれた。園児たちは先生方と息を合

西館隆（船越・？歳）

すべての運転者が志を一つにして飲酒運転根絶に立ち上がりましょう。



今月の題字
伊藤美香ちゃん
(豊間根小6年)

町のわだい

手製の押し花しおりを寄贈 読書のきっかけにと願い込め

夢花倶楽部inやまだ(昆加代子代表・会員20人)では、町内各小学校に手作りの押し花のしおりを寄贈しました。同会では活字離れが進んでいるといわれている子供たちのために、本を読むきっかけになればと、およそ半年かけて2,500枚を作成。10月16日には山田南小学校を訪れ、児童会長の今野美優さん(6年)に全校生徒と教諭の分合わせて300枚のしおりを手渡しました。今野さんは「ありがとうございます。このしおりを有効に使って、本をたくさん読みたいと思います」とお礼を述べました。



「まちづくり出前講座」が始まる 町職員が出向き各テーマで講話

町政に理解を深めてもらおうと、10月1日から町職員による「まちづくり出前講座」が始まり、各所で講座が開かれています。10月15日には「コスモスの会」の依頼で役場保健福祉課職員2人が大沢川向集落センターに出向き、「食べ物による健康づくり」と題して講話。会員24人が参加し、骨粗しょう症の予防法と食事について理解を深めました。講座は町内に住む5人以上の団体であれば、どなたでも開催できます。希望の方は役場総務課住民協働推進室(☎82-3111内線440)へお申し込みください。

赤十字 アマチュア無線ネットを設立 災害時の情報収集活動を支援

「山田アマチュア無線ネット赤十字奉仕団」の設立総会が10月14日、町中央コミュニティセンターで開かれました。災害時の情報収集・伝達などの支援を目的に、アマチュア無線ライセンス取得者で設立したもので、総会には5人が出席。役員の選任や今後の取り組みについて協議し、委員長に上野祐一さん(北浜町・47)を選出しました。現在会員は12人。町内に住むライセンス取得者であればどなたでも入会できますので、協力いただける方は佐々木一彦事務局長(☎82-2416)へご連絡ください。



県立山田病院で新築落成式 地域に密着した病院目指す

10月26日、柳沢地区に移転新築された県立山田病院(及川修次院長)の落成式が同病院で行われ、増田寛也知事のほか県や町の関係者など60人が出席しました。開会に先立ち、増田知事が「新しい山田病院では、ほかの医療機関と連携して医療機能の充実を図り、より信頼される病院運営に努めます」とあいさつ。その後用地提供者に増田知事から感謝状が手渡されました。最後に及川院長が「皆さんの要望に応えられるよう、地域に密着した病院を目指します」と感謝の言葉を述べました。



船越地区 佐々木ハナヨさんが100歳に 家族と長寿を笑顔で祝う

船越地区の佐々木ハナヨさん(明治39年生まれ)が10月26日で満100歳の誕生日を迎えました。28日に沼崎喜一町長が自宅を訪問し、長寿を祝福。「100歳おめでとうございます。佐々木さん、これからも長生きしてくださいね」とあいさつし、長寿祝い金を手渡しました。佐々木さんは受け答えもはきはきとしており、自分の着物を自分で縫うなど、とてもしっかりとされています。この日は佐々木さんの子供から孫、ひ孫、玄孫まで20人が自宅に集まり、笑顔で長寿を祝っていました。

町民体育祭に1,100人 豊間根地区2年連続で優勝

10月1日、町民体育祭が町民グラウンドを会場に開かれました。35回目の今年は11地区1,100人が来場。清々しい秋晴れの空の下、参加者は優勝目指して各種競技や応援に熱戦を繰り広げました。結果、最終競技の「世代にかける橋」(リレー)で男女とも上位に入賞した豊間根地区が、総合順位で3位から逆転し2年連続での優勝。準優勝は船越地区、3位は轟木地区でした。また、今年から地区対抗の応援合戦も行われ、児童によるチアリーダーや勇ましい羽織袴姿での応援を披露した轟木地区が、見事応援賞を受賞しました。



平成19年1月から

退職所得に係る住民税の 税率が一律10%になります

税制改正に伴い平成十九年一月から退職所得に係る住民税の税率が一律一〇%になります。退職手当などに係る個人の町民税・県民税については、退職手当などの支払者が退職者に退職所得と分離して退職所得に対する税額を計算し、支払額からその税金を天引きして、退職者の一月一日現在の住所地の市町村に納入することになっています（退職所得に係る分離課税の特例）。

今回の改正に伴う所得税から個人住民税への税源移譲により、適用となります。税額計算が容



平成十九年度から個人住民税所得割の税率構造がこれまでの累進税率から一律一〇%（町民税六%、県民税四%）の比例税率に変わります。これによって退職所得の分離課税に係る所得割については、平成十九年一月一日以後の支払いに係るものから適用となります。税額計算が容

年末調整説明会を開催

宮古税務署では年末調整説明会を開催します。平成18年分の年末調整の仕方や法定調書・給与支払報告書の提出方法などについて説明しますので、税務署から送付された年末調整関係書類をご持参の上、お越しください。

▷日時 11月21日(火) 午後1時半～3時半

▷場所 町中央公民館小ホール

▷問い合わせ 宮古税務署（☎62-4611）へ。

町に温かい善意届く



東北電力 宮古営業所 球根と街路灯贈る

東北電力宮古営業所（山田満所長）などでは、チューリップの球根1,000個と街路灯10基を町に寄贈しました。贈呈式は10月12日に役場特別応接室で行われ、山田所長と関連企業の代表3人が出席。山田所長が「町の美化活動と安全で明るい町づくりに役立ててください」とあいさつし、沼崎喜一町長に目録と球根を手渡しました。寄贈された球根は同社員や飯岡地区住民自治会、地域の方々の手で長崎地区の町道沿いに植え付けられることになっています。来春には色鮮やかな花が沿道を彩り、多くの通行人の目を楽しませてくれそうです。

山田中 吹奏学部



車いす2台を寄贈

山田中学校吹奏楽部が、チャリティーコンサートの寄付金で購入した車いす2台を町に寄贈しました。贈呈式は10月18日に役場町長室で行われ、部長の福士優海さん（3年）、副部長の佐々木章江さん（同）、清水あずささん（2年）、同コンサートに賛助出演した山田高校吹奏楽部の佐々木明恵部長（2年）らが出席。福士さんが「体の不自由な方々のために役立ててください」とあいさつし、沼崎喜一町長に車いすを引き渡しました。沼崎町長は「福祉の心を後輩に引き継いでいってほしい」と述べました。チャリティーコンサートは平成9年度からほぼ毎年開かれ、昨年度までに車いす2台、エアマット9台、現金約9万円などが町に贈られています。

低気圧による波浪で 女郎島の上部が崩落

10月6日から8日にかけて三陸沖を通過した低気圧による波浪で、山田湾にある女郎島の上部が崩落しました。女郎島は小島の南側に位置する岩でできた小さな島。寛永20年（1643年）にオランダ船（大船）が山田湾に入港したときの様子を記す古文書には、大船の人々を村に上陸させるため「見目よき女捨人を迎船に乘せ大船に向かわせた」とあり、このことなどからこの島が女郎島と呼ばれるようになったといわれています。織笠漁協かき・ほたて養殖組合の阿部喜蔵組合長は「10歳のころから58年間浜に出ているが、山田湾がこんなに荒れたのは記憶になく、歴史的背景のある女郎島が崩れてしまい残念に思う。昔から漁業者は女郎島を目安にして船を進めてきたので、崩落により島が見づらくなり大変不便を感じている」と話していました。



崩落前の女郎島＝平成17年6月22日撮影＝



崩落後の女郎島＝平成18年10月31日撮影＝



町職員（保健師）を募集

試験日は11月26日です

平成十九年四月採用予定の町職員（保健師）を募集します。

◆職種 保健師

◆採用予定人数 若干名

◆受験資格 昭和五十三年四月二日以降に生まれた人で、保健師の資格がある人（平成十九年三月末までに資格を取得する見込みの人を含む）

◆申し込み方法 役場住民生活

課窓口で配布する申込書に必要事項を記入し、役場総務課へ提出してください。

※申込書を郵便で請求する場合は、百二十円切手とあて先を明記した返信用封筒（A4版）を同封し、役場総務課に請求してください。

◆受付期間 十一月六日～十七日（土・日曜日を除く）

◆受付時間 午前八時半～午後五時半

※郵送の場合も十一月十七日午後五時半までに到着したものに限り受け付けます。

◆試験日時 十一月二十六日

（日）午前十時～（受け付けは午前九時半～）

◆試験会場 山田町役場

◆試験内容 教養試験（高校卒業程度）、作文試験、事務適性検査、専門試験

◆問い合わせ 役場総務課行政担当（〒028-1392 山田町八幡町3番20号 ☎82-3111内線420）へ。

町長室から

先月、オランダ・ザイスト市のクリスティック・リセウム・ザイスト校からの訪問団が山田町を訪れ、交流を深めました。彼らの訪日に当たって寄せられたザイスト市長の激励のあいさつをパンフレットで読ませていただきましたが、心がうずくくぐりがありました。それは「日本は独特な文化を有する国です。（中略）道路にはごみ箱が無く、紙くずも落ちていないことに気付くでしょう。自転車が置かれているのに出くわしたとき、鍵を掛けている人はほとんどいないことにも気付くでしょう。日本では、自分の物以外は普通持っていけないらしい。何でもないことかもしれないが、とても素晴らしいことに思えるのです。（中略）そのような安全な文化をザイストにもと夢を見ます。ザイストに輸入できないだろうかと一国に帰った生徒たちは、市長にどのような報告をするのでしょうか。

山田町長 沼崎喜一



まちで出会ったかわいい笑顔

広報クイズ 233

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- 10月16日から21日まで本町を訪れたオランダ王国ザイスト市のC L Z校訪問団は全員で何人？
① 8人 ② 9人 ③ 10人
- 第32回日本盆栽作風展で大町功さんが受賞した賞は？
① 法務大臣表彰 ② 総務大臣表彰 ③ 内閣総理大臣賞
- 町政に理解を深めてもらおうと、町職員が各所に出向いて説明などを行う講座は？
① まちづくりお出掛け講座 ② まちづくり出前講座 ③ まちづくり出張講座
- 今号の「1歳になりました」に登場している赤ちゃん7人のうち、女の子は何人？
① 3人 ② 4人 ③ 5人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、応募ください。
【応募先】 〒028-1392（住所記載不要）山田町役場広報クイズ係
【締め切り】 11月20日（当日消印有効）
☆前回の正解は①-A、②-B、③-C、④-Bでした。応募者数18通で全員が正解、抽選の結果次の10人が当せんしました。
北浜町＝伊藤真由（7） 後楽町＝松山福治（60） 長崎＝小林祐真（9）、伊藤亜紀子（15） 飯岡＝佐々木智子（？） 田の浜＝佐々木節男（65） 大浦＝佐藤瑞姫（7） 織笠＝小林江理子（34） 大沢＝佐々木マセ（77） 荒川＝佐藤渉（3） 〈敬称略〉

おしらせ



各種相談あります お気軽にご利用を

- ◎全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間
▷期間 11月13日～19日
▷時間 平日…午前8時半～午後7時半 土・日曜日…午前10時～午後5時
▷内容 夫・パートナーからの暴力、職場でのセクシャルハラスメント、ストーカー行為など女性をめぐる各種相談
▷相談電話 ☎0570-070-810
▷相談員 人権擁護委員、法務局職員
▷問い合わせ 盛岡地方法務局（☎019-624-9859）へどうぞ。
- ◎行政相談
▷日時 11月16日（木） 午前10時～正午
▷内容 国や県、市町村の仕事で納得いかないことなど行政全般の相談
▷場所 町中央コミュニティセンター
▷相談員 行政相談委員
▷問い合わせ 役場住民生活課 住民相談担当（内線128）へ。



航空自衛隊の野外 行動訓練に理解を

日本全域とその周辺を対象にした平成18年度航空自衛隊航空総隊総合訓練に伴い、山田分屯基地では航空機の遭難を想定した野外行動訓練を実施します。訓練車両の通行や隊員の山林への立ち入りなどがありますので、ご理解をお願いします。
▷期日 11月8日（水）
▷場所 船越半島周辺
▷問い合わせ 役場総務課防災担当（内線440）へどうぞ。

11月の町長面談日

- ▷日時 11月17日（金） 午前10時～正午
▷場所 役場4階特別応接室
※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。



各種講演会を開催 皆さんのご来場を

- ◎裁判員制度に関する講演会
山田町婦人団体協議会では、平成21年度にスタートする裁判員制度について理解を深めるため、講演会を開催します。どなたでも参加できますので、どうぞお越しください。
▷日時 11月18日（土） 午後2時～4時
▷場所 町中央公民館小ホール
▷問い合わせ 町教育委員会事務局社会教育担当（内線622）へ。
- ◎心の健康講演会
町では、心の健康講演会を開催します。睡眠に関する正しい知識と睡眠障害への対処法を学び、心身の健康づくりに役立てませんか。
▷日時 11月22日（水） 午後1時半～3時
▷場所 保健センター
▷演題 「睡眠のことで悩んでいませんか＝睡眠と健康＝」
▷講師 智田文徳さん（精神科医師、社会福祉法人「盛岡いのちの電話」理事）
▷申込期限 11月17日
※睡眠と健康について質問などがある方は、申し込みの際にお知らせください。
▷申込先・問い合わせ 役場保健福祉課健康づくり担当（内線166）へどうぞ。



農林水産業者を 資金面から支援

県では、農林水産業に携わる皆さんの経済活動を資金面から支援するため、事業拡大に必要な設備資金や運転資金を低利または無利子で融通する制度を設けています。制度の種類や内容など、詳しくは県農林水産部団体指導課または最寄りの地方振興局、農協、漁協、森林組合などへお問い合わせください。
▷問い合わせ 県農林水産部団体指導課（☎019-629-5699）へどうぞ。



18日に社交ダンス パーティーを開催

- 社交ダンスサークル「ビボット」では、社交ダンスパーティーを開催します。
▷日時 11月18日（土） 午後6時～8時半
▷場所 町中央公民館小ホール
▷参加費 1,000円
——サークル活動を公開——
ビボットではサークル活動を公開します。興味のある方はお気軽にお越しください。
▷期日と場所
・11月7日…町中央コミュニティセンター
・11月10日、14日、24日…町中央公民館小ホール
▷時間 午後7時～9時
◆問い合わせ ビボット（福士敏郎☎82-2801）へどうぞ。



森林伐採の際には 届け出が必要です

森林所有者または伐採業者が立木を伐採する場合には、伐採届けを市町村などに提出しなければなりません。事前に届け出する場合と事後に届け出する場合がありますので、おむね伐採する2カ月前に市町村などを確認しましょう。また、森林の伐採に当たっては伐採による災害が発生しないように対策を講じるとともに、短期間で森林が再生できるようにするなど環境保全に十分配慮しましょう。
——林地開発許可制度——
民有林で1㌦を超える森林の開発を行おうとするときには、知事の許可が必要です。これは森林の無秩序な開発により大切な森林の働きが損なわれるのを防ぎ、わたしたちの生活環境を守るための制度です。許可申請などについて詳しくは下記へお問い合わせください。
◆問い合わせ 役場産業振興課林業担当（内線238）または宮古地方振興局林務部森林保全課（☎64-2215）へどうぞ。



町民バドミントン 大会の参加者募集

- 町民バドミントン大会が開催されます。なお、練習会も行っていますので、お気軽にご参加ください。
▷日時 11月26日（日） 午前9時～
▷場所 山田中学校体育館
▷種目 シングルス、ダブルス（男女別初級、上級）
▷参加料 一人1種目400円（中学生は200円）
▷申込期限 11月21日
——練習会の日程——
▷開催日と場所 毎週木・土曜日…山田体育館 毎週火・金曜日…健康増進センター
▷時間 午後7時～
◆申込先・問い合わせ 町バドミントン協会事務局（岡市善敏☎84-3516）へどうぞ。



里親制度について ご存じでしょうか

里親とは、親の病気や離婚などさまざまな事情によって、温かい家庭のぬくもりを求めているお子さんを自分の家庭に迎え入れ、実親に代わって愛情と真心を込めて養育してくださる方のことです。
里親には短期里親（一時的に養育）、養育里親（1年以上の長期にわたり養育）、専門里親（虐待を受けた児童を一定条件の中で養育）、親族里親（3親等以内の親族により一定条件のもとで養育）の4種類あります。
里親になるには、特別な資格は必要ありませんが、子供が大好きであることや健康的で明るい家庭であることなどの要件を満たす必要があります。里親になることを希望する方は、児童相談所から詳しい説明をお聞きの上、申し込みください。
▷申込先・問い合わせ 宮古児童相談所（☎62-4059）または役場保健福祉課地域福祉担当（内線133）へどうぞ。



町の臨時職員を 一般公募します

- 町では、期限付臨時職員を募集します。申し込みを希望する方は役場住民生活課または役場支所に備え付けの履歴書に必要な事項を記入し、申し込んでください。選考方法は書類審査（履歴書）と面接です。
臨時校務員
▷募集人数 1人
▷応募資格 町内に住所があり、普通自動車免許のある人
▷勤務場所 山田中学校
▷賃金 月額5,400円
▷任用期間 12月1日～来年3月31日
※必要がある場合は、最大8カ月まで期間が更新されます。
▷申込期限 11月13日
▷申込先 役場総務課
▷問い合わせ 町教育委員会事務局総務担当（内線333）へ。
地域包括支援センター臨時職員
▷募集人数 1人
▷応募資格 町内に住所があり、介護支援専門員または看護師の資格がある人
▷勤務場所 地域包括支援センター（役場保健福祉課内）
▷賃金 月額7,300円
▷任用期間 12月1日～来年3月31日
▷申込期限 11月13日
▷申込先 役場総務課
▷問い合わせ 地域包括支援センター（役場保健福祉課内☎82-3136）へどうぞ。



全血献血あります 皆様のご協力を

- ▷期日 11月7日（火）
▷時間と場所
・午前10時～11時…（株）ユーメリアファクトリーパーク前
・午後零時半～2時10分…J R陸中山田駅前
・午後3時～4時半…和田工業（株）前
▷問い合わせ 役場保健福祉課健康管理担当（内線161）へ。

心肺蘇生法が変わりました 山田消防署で救急講習を実施

心肺停止状態に陥った患者に対して行う応急手当である心肺蘇生法が一部変わりました。主な変更内容は人工呼吸と心臓マッサージの割合、AED（自動体外式除細動器）の使用方法などです。今回の変更はこれまでの方法を否定するものではなく、より民間レベルでの救命救急効果を高めるのが目的です。
山田消防署では、救急講習の受講者を随時受け付けています。職場、団体、個人にかかわらず受講できますので、希望する方は山田消防署へお申し込みください。

11月9日は「119番の日」 通報は落ち着いて正確に

11月9日は「119番の日」です。一刻を争う119番通報では▶火事か救急か▶場所は▶火事、事故などの状況は▶あなたの氏名と電話番号——を落ち着いて正確に伝えましょう。
なお、本町から携帯電話で119番通報をすると宮古消防署につながりますので、発生場所はより詳しく伝え、通報後は消防署から問い合わせをすることがありますので、携帯電話の電源は切らずに現場近くの安全な場所で待機するようお願いします。

◆申込先・問い合わせ 山田消防署（☎82-3139）へ。

つなぎ温泉「ひまわり荘」 国保加入者は利用券で半額に

盛岡市のつなぎ温泉にある健康管理施設「ひまわり荘」は、国民健康保険に加入している方々が健康の回復や休養のため利用できる施設です。
2泊以上の長期療養をご希望の方は、事前に役場住民生活課（1階3番窓口）にお申し込みいただければ、半額を山田町の国民健康保険が助成して、半額で宿泊できる利用券を発行します。申し込みの際は、国民健康保険の保険証と印鑑をお持ちください。
【ひまわり荘とは】
◆料金 1泊（3食付き）5,460円
※利用券を提出すると半額の2,730円になります。
◆利用時間 入室は午後2時からで、帰りの日は午後1時まで
◆その他 ▶ひまわり荘には保健師がおり、健康づくりのお手伝いをしています▶原則として相部屋となります▶年末年始は別料金となります。
◆申込先・問い合わせ 役場住民生活課国民健康保険担当（内線124）へどうぞ。

おめでとう・おくやみ

9月届け出分（敬称略）

〔出生〕（ ）は保護者名と性別

- ▷山田 阿部陽向（誠・男）、澤田勘太（憲祐・男）、箱石恭汰（智生・男）
- ▷船越 木村利玖（政彦・男）
- ▷田の浜 野田来未（義光・女）、田代陽菜（智巳・女）
- ▷織笠 山屋ひかり（晃浩・女）、伊藤美緒（剛・女）
- ▷大沢 鈴木心清（嘉郎・女）
- ▷豊間根 尾形玲奈（征孝・女）
- ▷荒川 加藤沙音（悠太・女）、佐藤望（順一・男）、芳賀彩花（尚徳・女）

〔結婚した二人〕（ ）は住所

- 伊東賢（宮古市）・阿部恵美子（田の浜）
- 古川一将（釜石市）・佐々木亜樹（豊間根）
- 前川一夫（宮古市）・佐藤実佐子（荒川）
- 山崎光徳（船越）・篠澤悦子（織笠）

〔死亡〕（ ）は年齢

- ▷山田 福士タカヨ（74）、佐藤カホル（77）、武藤善祐（73）、鹿糠マツヨ（74）、小川タカ（96）
- ▷大浦 阿部軍治（87）、阿部直治（92）
- ▷織笠 佐々木公純（56）、木村源太郎（80）
- ▷豊間根 武山キミ（91）
- ▷荒川 吉川進見（81）、吉川ミヤ（73）

町民のうごき

（9月1日～30日）

- ▷出生……14人 ▷転入……30人
- ▷死亡……13人 ▷転出……53人

- ▷人口…20,511人（今月減22人）
- 男…9,863人 女…10,648人
- ▷世帯数……………7,249世帯

◆先月、広報担当四年目に突入しました。三年経った現在でも、文章づくりや写真に頭を悩ます日々で、あまり成長できてないな…とうなだれると、お腹周りだけが成長をアピールしていました。

◆初冬のイベント「鮭まつり」も間近ですね。今年も取材に伺いますので、つかみ捕りで大物のサケを捕まえたら、真っ先に広報担当へ向かってきてください。広報の表紙を飾るのはあなたかも…。

幸



横田 音桜
(飯岡・勝也・女)



木下 一志
(長崎・勝秀・男)



藤田 琉伽
(大沢・新二・男)



阿部 清佳
(織笠・エリカ・女)



佐々木 桃香
(田の浜・盛一・女)

11月生まれ

赤ちゃん紹介
一歳になりました



佐々木 愛来
(山田・良作・女)



菊地 冬磨
(大沢・秀幸・男)

※敬称略・（ ）内は地区名、保護者、性別です。

三陸やまだ

織笠川

鮭まつり

第1回 第2回
と き 11月26日(日)・12月3日(日)
午前9時半～午後2時
(受け付けは午前9時～)

ところ 織笠川特設会場



- ◆内容 ▶サケつかみ捕り（1日4回実施。4回目は午後零時半～）▶サクラマスフィッシング▶出店コーナー▶食堂コーナー（鮭汁、ハラッコ丼、ハラッコうどんほか）▶えびすまき・お楽しみ抽選会▶水産物直売コーナー
- ◆参加料 ▶サケつかみ捕り…中学生以上1,000円、小学生800円（いずれも一人1匹）▶サクラマスフィッシング…500円（一人5匹まで。超過分は1匹につき100円追加）
- ◆問い合わせ 役場産業振興課商工観光担当（☎82-3111内線233）へどうぞ。